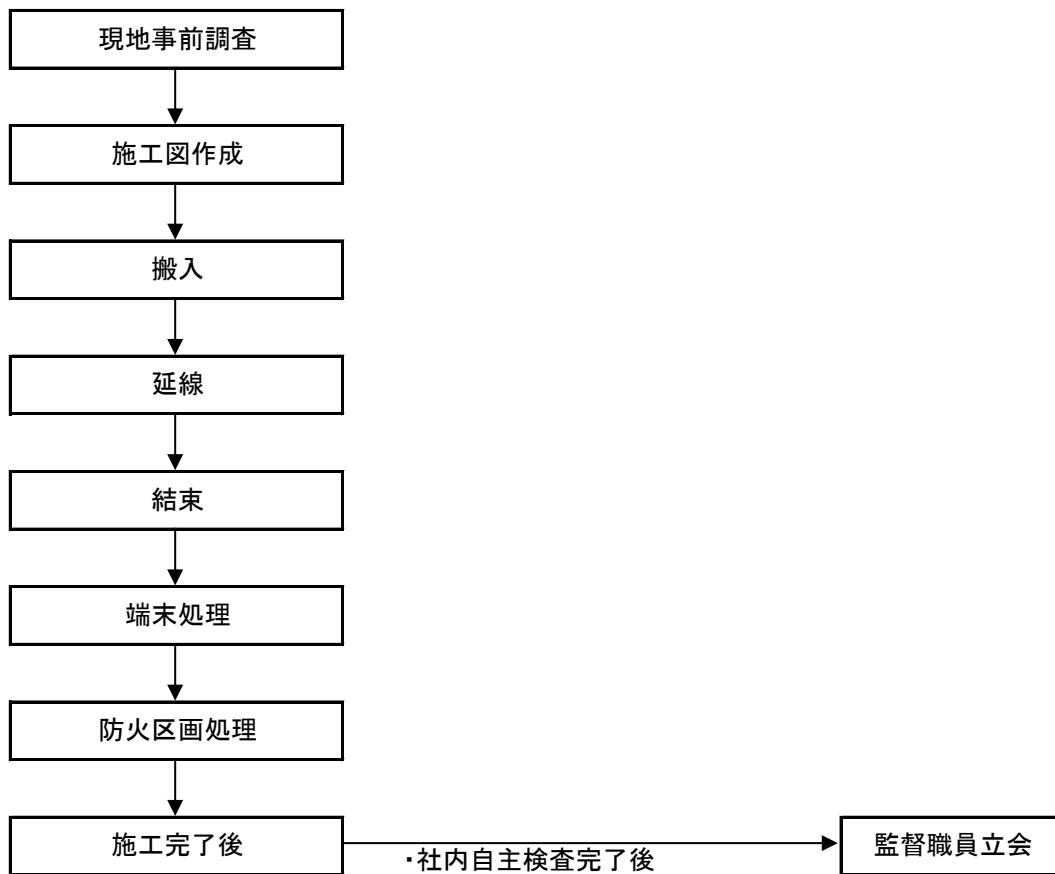


2-1 配線工事



2-1 配線工事

シートNo.

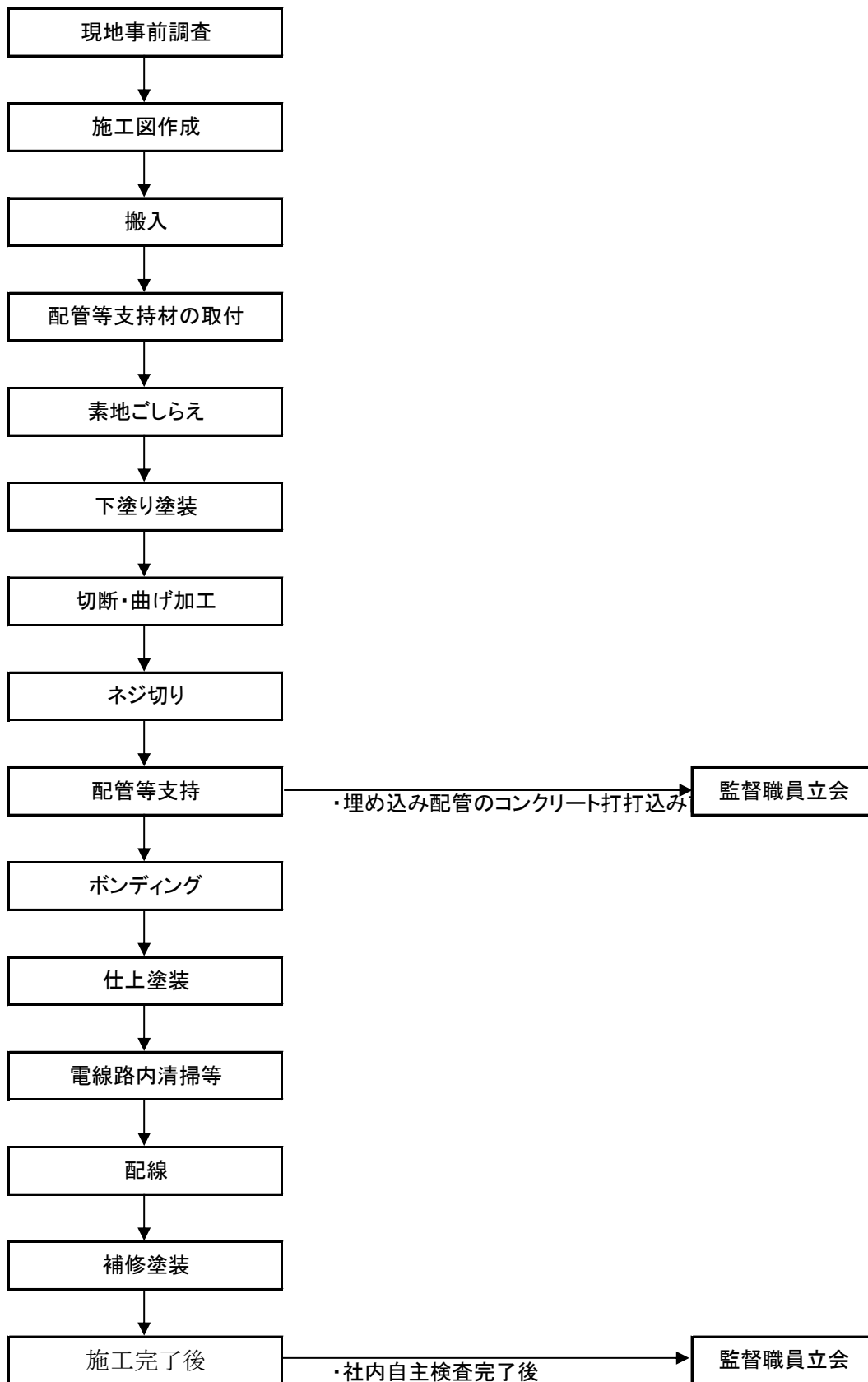
対象機器	・ピット部※1 式 ・ダクト※3 式 ・配管部※5 式 ・防火区画貫通部 式	・ケーブルラック部※2 式 ・フリーアクセス部※4 式 ・地中配管部※6 式	施工場所	施工機器	
	工程	チェック項目	品質管理基準	確認日	備考
1	現地事前調査				
	1.1	設計図書と現地との対比			
	1.2	機器外形寸法、ケーブル接続位置の確認(機器製作図による)			
	1.3	機器据付場所周りの建築設備(照明、自火報、空調ダクト等)の位置確認			
	1.4	関連工事との工程・機器配置等調整の確認			
	1.5	使用資材(鋼材等)の調査			
	1.6	既設状況の確認(更新の場合)			稼動状況・停止可能時間等の確認
	1.7	調査資料を作成し、監督職員と協議			
2	施工図作成(経路・位置の決定)				
	2.1	関連工事の施工図との整合確認			
	2.2	接地線・ケーブルの配線方法の決定	設計図書		
	2.3	配管経路、配管方法の決定	設計図書		
	2.4	電線・ケーブル選定	負荷容量、電圧降下、配管の断面積		
	2.5	防火区画場所、機器引込口等の確認			
	2.6	施工承諾図の提出			
	2.7	配線区間表の提出			心線数、太さ、色分け及び区間等を明記したもの
	2.8	材料承諾図の提出	設計図書、共通仕様書		品質等の確認
	2.9	切替計画書の提出(更新工事の場合)			関連工事と調整済みのもの
	2.10	監督職員の承諾(2.6~2.9)			
3	搬入				
	3.1	搬入計画書の提出及び承諾(必要な場合)			
	3.2	材料承諾図との確認	設計図書、共通仕様書		品質等の確認
	3.3	写真の確認			工事写真作成要領参照
4	延線				
	4.1	ケーブルドラム、延線器具、人員等の適切な配置の確認			
	4.2	用途種別ごとに亘長の長いもの、断面積の太いもの順に延線(※1~4)			
	4.3	ケーブルのよじれ、キンク等が発生しないようにする。			
	4.4	高圧、動力、低圧、制御、計装の延線経路確認			
	4.5	同一管路内通線の用途、線種、条数の確認(※5~6)			

2-1 配線工事

シートNo.

対象機器	・ピット部※1 式 ・ダクト※3 式 ・配管部※5 式 ・防火区画貫通部 式	・ケーブルラック部※2 式 ・フリーアクセス部※4 式 ・地中配管部※6 式	施工場所	施工機器	
	工程	チェック項目	品質管理基準	確認日	備考
	4.6	異種電圧ケーブル・他の工作物との離隔距離を十分に確保			
	4.7	マンホール及びハンドホール内の余長の確認			
	4.8	写真の確認			工事写真作成要領参照
5 結束					
	5.1	必要な箇所での結束確認(※1~3)			
	5.2	結束材料による将来延線支障となる突起物無しの確認			
	5.3	ケーブル札(行先・ケーブルNo.表示)の取り付け			
	5.4	写真の確認			工事写真作成要領参照
6 端末処理					
	6.1	適切な端末処理材料の使用			
	6.2	機器端子との接続に過大な力が加わっていないこと			
	6.3	ケーブル締付チェックマーク	締付けトルク Nm		
	6.4	ケーブルの相色別、マークバンドの取り付け			
	6.5	写真の確認			工事写真作成要領参照
7 防火区画処理					
	7.1	認定工法での防火区画処理			
	7.2	認定シールの貼付又は認定証の確認			
	7.3	写真の確認			工事写真作成要領参照
8 施工完了後					
	8.1	盤内引込み部の防湿・防虫処理の確認			
	8.2	立上げ立下り配管の防湿・防虫処理の確認			
	8.3	マンホール及びハンドホール内引込み部の防湿・防虫処理の確認			
	8.4	屋外及び屋内引込部の防水処理の確認			
	8.5	ケーブル被覆の損傷は無い確認			
	8.6	完成写真の確認			工事写真作成要領参照
	8.7	施工図による出来形の確認			

2-2 金属管工事



2-2 金属管工事

シートNo.

対象機器	・鋼製電線管 式	品質管理基準	施工場所	施工機器
	・金属可とう電線管※1 式			
	・プルボックス 式			
工程	チェック項目	品質管理基準	確認日	備考
1	現地事前調査			
	1.1 設計図書と現地との対比			
	1.2 機器外形寸法、配管接続位置の確認(機器製作図による)			
	1.3 機器据付場所周りの建築設備(照明、自火報、空調ダクト等)の位置確認			
	1.4 関連工事との工程・機器配置等調整の確認			
	1.5 使用資材(鋼材等)の調査			
	1.6 既設状況の確認(更新の場合)			稼動状況・停止可能時間等の確認
	1.7 調査資料を作成し、監督職員と協議			
2	施工図作成(経路・位置の決定)			
	2.1 関連工事の施工図との整合確認			
	2.2 既設機器との整合確認			
	2.3 保守点検スペース、管理動線の確保	幅0.8m以上 高さ1.8m以上		
	2.4 屋外への開口部について、防潮高さをクリアしているか確認			
	2.5 配管経路、配管方法の決定	設計図書		
	2.6 配管・電線・ケーブル選定			配線工事チェックシート参照
	2.7 配管、プルボックス選定	電線、ケーブルの本数、断面積の総和		
	2.8 施工承諾図の提出			
	2.9 材料承諾書の提出	設計図書、共通仕様書		品質等の確認
	2.10 切替計画書の作成(更新工事の場合)			関連工事と調整済のもの
	2.11 監督職員の承諾(2.8~2.10)			
3	搬入			
	3.1 搬入計画書の提出及び承諾(必要な場合)			
	3.2 材料承諾図との確認	設計図書、共通仕様書		品質等の確認
	3.3 写真の確認			工事写真作成要領参照
4	配管等支持材の取付			
	4.1 露出配管をハンガーレール等で取付面から浮かす(漏水の恐れがある場所)			
	4.2 支持材取付間隔	2m以下、接続箇所付近は0.5m以下		
	4.3 支持金物に保護キャップ取付	床上2.5m以下の部分		
5	素地ごしらえ(※1は除く)			
	5.1 汚れ、付着物及び油類の除去確認			
	5.2 化学処理(エッチングプライマー1種)の確認			

2-2 金属管工事

シートNo.

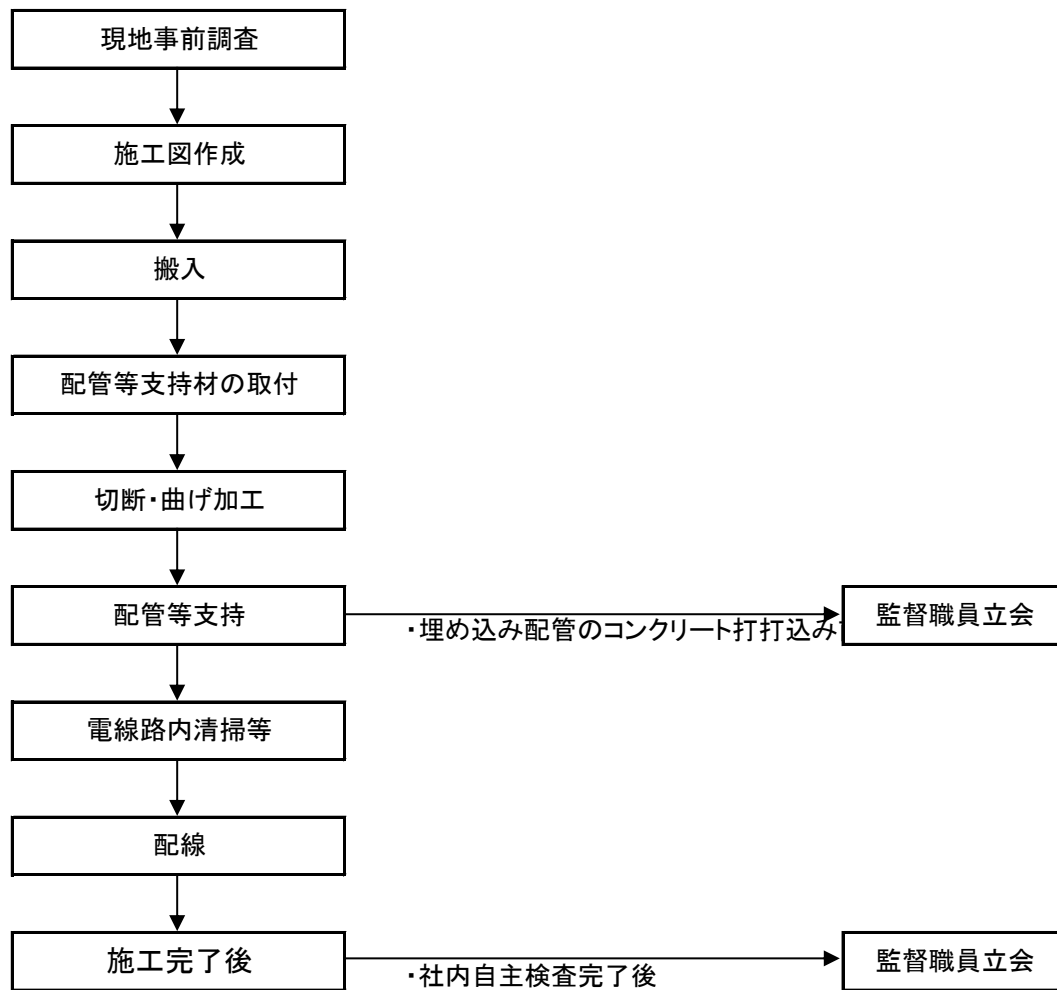
対象機器	・鋼製電線管 式	品質管理基準	確認日	施工場所	施工機器
	・金属可とう電線管※1 式				
	・プルボックス 式				
工程	チェック項目	品質管理基準	確認日	備考	
	5.3 養生期間の確保				
	5.4 写真の確認				工事写真作成要領参照
6	下塗り塗装(※1は除く)				
	6.1 調合ペイントでムラなく塗装				
	6.2 養生期間の確保				
	6.3 写真の確認				工事写真作成要領参照
7	切断・曲げ加工				
	7.1 曲げ箇所をつぶれの無しの確認				
	7.2 曲げ半径の確認	管内径の6倍以上			
	7.3 一区画の屈曲箇所及び、曲げ角度の確認	屈曲4箇所以下、曲げ角度合計270°以下			
	7.4 管口径のバリ取り、平滑化の確認				
	7.5 電線管接続部および曲げ加工部の錆止め塗装				
	7.6 写真の確認				工事写真作成要領参照
8	ネジ切り(※1は除く)				
	8.1 ネジ切り部長さの確認				
	8.2 ネジ切り部の錆止め塗装				
	8.3 写真の確認				工事写真作成要領参照
9	配管等支持				
	9.1 盤接続、管接続、プルボックス等の堅固な接続				
	9.2 屋外プルボックスは防水形を使用し、下面に水抜き穴を設ける。				
	9.3 埋め込み配管は、コンクリート打ち込み前に監督職員の検査				
	9.4 屋外および水気のある場所で埋込から露出になる箇所の防食テープ巻き。	境界面から10cmまで			
	9.5 屋外および水気のある場所で埋込からの立ち上がり箇所のモルタル根巻き。	境界面から5cmまで			
	9.6 整管、パイプクリップ固定の確認				
	9.7 写真の確認				工事写真作成要領参照
10	ボンディング(※1は除く)				
	10.1 必要箇所のボンディングアース取付	1.6mm以下の軟銅線			
	10.2 写真の確認				工事写真作成要領参照
11	仕上塗装(※1は除く)				

2-2 金属管工事

シートNo.

対象機器	<ul style="list-style-type: none"> ・鋼製電線管 式 ・金属可とう電線管※1 式 ・プルボックス 式 		施工場所	施工機器	
工程	チェック項目		品質管理基準	確認日	備考
	11.1	調合ペイントでムラなく塗装			
	11.2	配管色別塗装(バンドマーク)			
	11.3	養生期間の確保			
	11.4	写真の確認			工事写真作成要領参照
12	電線路内清掃等				
	12.1	電線路内導入線の確保			
	12.2	未使用電線路の砂等進入防止処理			
	12.3	管内清掃の確認			
13	配線				
	13.1	配線工事施工管理シートによる			
	13.2	管端が上部開口箇所では止水対策			
	13.3	呼び線の入線			
14	補修塗装				
	14.1	塗装剥離、キズ等の補修			
	14.2	写真の確認			工事写真作成要領参照
15	施工完了後				
	15.1	完成写真の確認			工事写真作成要領参照
	15.2	施工図による出来形の確認			

2-3 合成樹脂管工事



2-3 合成樹脂管工事

シートNo.

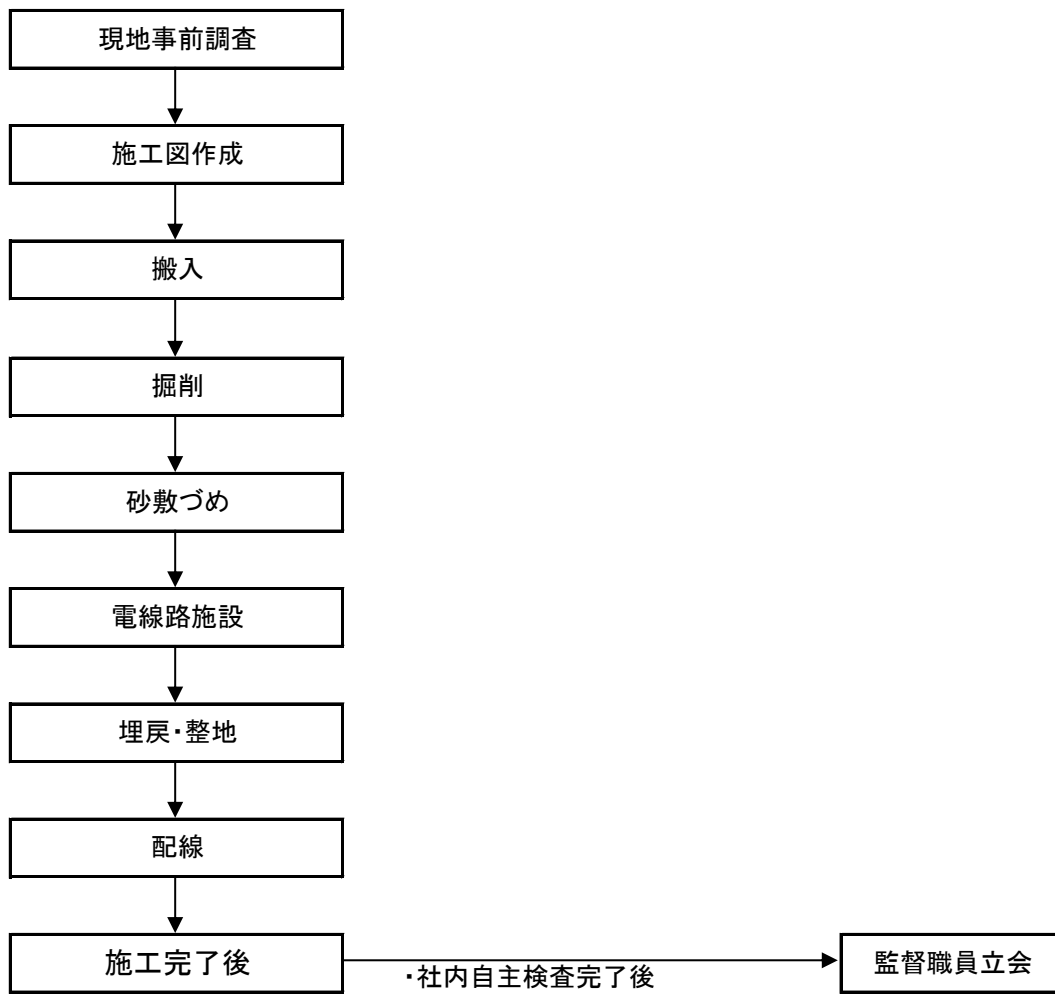
対象機器	・合成樹脂管 式 ・プルボックス 式		施工場所	施工機器
	工程	チェック項目	品質管理基準	確認日
1	現地事前調査			
	1.1	設計図書と現地との対比		
	1.2	機器外形寸法、配管接続位置の確認(機器製作図による)		
	1.3	機器据付場所周りの建築設備(照明、自火報、空調ダクト等)の位置確認		
	1.4	関連工事との工程・機器配置等調整の確認		
	1.5	使用資材(鋼材等)の調査		
	1.6	既設状況の確認(更新の場合)		稼動状況・停止可能時間等の確認
	1.7	調査資料を作成し、監督職員と協議		
2	施工図作成(経路・位置の決定)			
	2.1	関連工事の施工図との整合確認		
	2.2	既設機器との整合確認		
	2.3	保守点検スペース、管理動線の確保	幅0.8m以上 高さ1.8m以上	
	2.4	屋外への開口部について、防潮高さをクリアしているか確認		
	2.5	配管経路、配管方法の決定	設計図書	
	2.6	配管・電線・ケーブル選定		配線工事チェックシート参照
	2.7	配管、プルボックス選定	電線、ケーブルの本数、断面積の総和	
	2.8	施工承諾図の提出		
	2.9	材料承諾書の提出	設計図書、共通仕様書	品質等の確認
	2.10	切替計画書の作成(更新工事の場合)		関連工事と調整済のもの
	2.11	監督職員の承諾(2.8~2.10)		
3	搬入			
	3.1	搬入計画書の提出及び承諾(必要な場合)		
	3.2	材料承諾図との確認	設計図書、共通仕様書	品質等の確認
	3.3	写真の確認		工事写真作成要領参照
4	配管等支持材の取付			
	4.1	露出配管をハンガーレール等で取付面から浮かす(漏水の恐れがある場所)		
	4.2	支持材取付間隔	1.5m以下、接続箇所付近は0.3m以下	
	4.3	支持金物に保護キャップ取付	床上2.5m以下の部分	
5	切断・曲げ加工			
	5.1	曲げ箇所のつぶれの無しの確認		
	5.2	曲げ半径の確認	管内径の6倍以上	

2-3 合成樹脂管工事

シートNo.

対象機器		・合成樹脂管 式 ・プルボックス 式		施工場所	施工機器
工程	チェック項目		品質管理基準	確認日	備考
	5.3	一区画の屈曲箇所及び、曲げ角度の確認	屈曲4箇所以下、曲げ角度合計270°以下		
	5.4	管口径のバリ取り、平滑化の確認			
	5.5	写真の確認			工事写真作成要領参照
6	配管等支持				
	6.1	盤接続、管接続、プルボックス等の堅固な接続			
	6.2	屋外プルボックスは防水形を使用し、下面に水抜き穴を設ける。			
	6.3	埋め込み配管は、コンクリート打ち込み前に監督職員の検査			
	6.4	管接続接着剤の適切な塗布			
	6.5	伸縮カップリングのルーズ確認			
	6.6	整管、パイプクリップ固定の確認			
	6.7	バンドマークの取付け			
	6.8	写真の確認			工事写真作成要領参照
7	電線路内清掃等				
	7.1	電線路内導入線の確保			
	7.2	未使用電線路の砂等進入防止処理			
	7.3	管内清掃の確認			
8	配線				
	8.1	配線工事チェックシートによる			
	8.2	管端が上部開口箇所では止水対策			
	8.3	呼び線の入線			
9	施工完了後				
	9.1	完成写真の確認			工事写真作成要領参照
	9.2	施工図による出来形の確認			

2-4 地中電線路工事



2-4 地中電線路工事

シートNo.

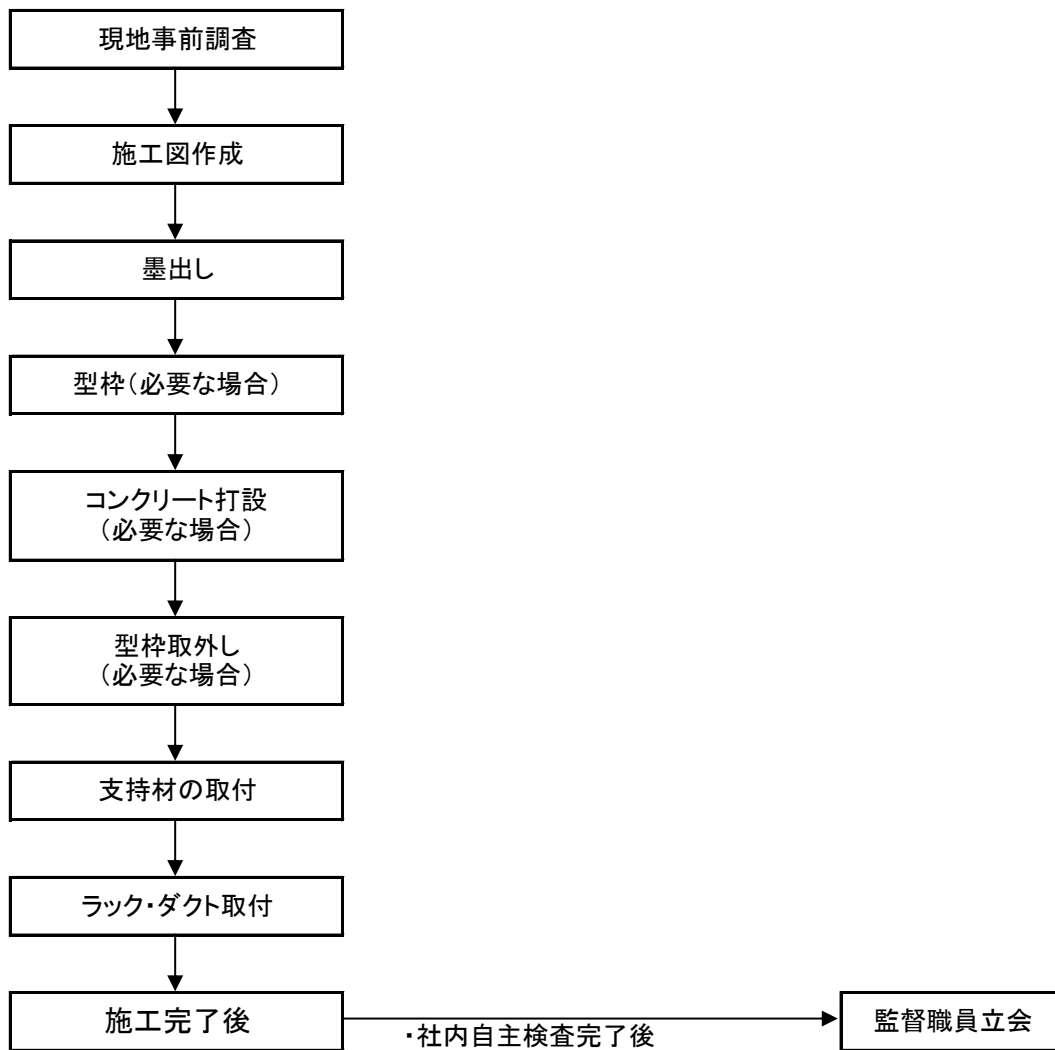
対象機器	<ul style="list-style-type: none"> ・水道用亜鉛めっき鋼管 式 ・鋼製電線管 式 ・波付硬質合成樹脂管 式 		施工場所	施工機器	
	工程	チェック項目	品質管理基準	確認日	備考
1	現地事前調査				
	1.1	設計図書と現地との対比			
	1.2	機器外形寸法、ケーブル接続位置の確認(機器製作図による)			
	1.3	機器据付場所周りの建築設備(照明、自火報、空調ダクト等)の位置確認			
	1.4	関連工事との工程・機器配置等調整の確認			
	1.5	使用資材(鋼材等)の調査			
	1.6	既設埋設物の確認(電気・ガス・水道)			
	1.7	既設状況の確認(更新の場合)			稼動状況・停止可能時間等の確認
	1.8	調査資料を作成し、監督職員と協議			
2	施工図作成(経路・位置の決定)				
	2.1	関連工事の施工図との整合確認			
	2.2	既設機器との整合確認			
	2.3	構内の建築等将来計画確認			
	2.4	用途別電線路の離隔確保			
	2.5	配管経路、配管方法の決定	設計図書		
	2.6	建物との取合について、防潮高さをクリアしているか確認			
	2.7	電線路選定根拠	電線・ケーブルの本数 断面積の総和		
	2.8	将来用電線路の条数確認			
	2.9	用途別電線路の配置確認			
	2.10	施工承諾図の提出			経路・位置・深さ・掘削幅
	2.11	材料承諾書の提出	設計図書、共通仕様書		品質等の確認
	2.12	切替計画書の作成(更新工事の場合)			関連工事と調整済のもの
	2.13	監督職員の承諾(2.10~2.12)			
3	搬入				
	3.1	搬入計画書の提出及び承諾(必要な場合)			
	3.2	材料承諾図との確認	設計図書、共通仕様書		品質等の確認
	3.3	写真の確認			工事写真作成要領参照
4	掘削				
	4.1	排水処理対策			
	4.2	安定した掘削地盤・側面の確保			
	4.3	埋設深さの確認			
	4.4	写真の確認			工事写真作成要領参照
	4.5	施工図による出来形の確認			
5	砂敷づめ				
	5.1	高さ、幅の確保			
	5.2	敷均しの確認			
	5.3	写真の確認			工事写真作成要領参照

2-4 地中電線路工事

シートNo.

対象機器	・水道用亜鉛めっき鋼管 式 ・鋼製電線管 式 ・波付硬質合成樹脂管 式		施工場所		施工機器	
	工程	チェック項目	品質管理基準	確認日	備考	
	5.4	施工図による出来形の確認				
6 電線路施設						
	6.1	電線路相互の離隔確保				
	6.2	蛇行状況確認(止めガイ等の処理)				
	6.3	ベルマウスでのハンドホール等との接続確認				
	6.4	ハンドホール等への接続の防水処理				
	6.5	均一な砂づめ				
	6.6	段積み施工の確認				
	6.7	電線路内清掃				
	6.8	電線路内導入線の確保				
	6.9	未使用電線路の砂等進入防止処理				
	6.10	水道用亜鉛めっき鋼管・鋼製電線管の防食テープ巻き	境界面から10cmまで			
	6.11	写真の確認			工事写真作成要領参照	
	6.12	施工図による出来形の確認				
7 埋戻・整地						
	7.1	電線路上部に砂敷設及び締固め				
	7.2	発生土から大きな石等の除去				
	7.3	敷均し・締固めの確認				
	7.4	埋設標識シートの布設確認				
	7.5	埋戻レベルの確認				
	7.6	道標の設置(曲がり部分の確認)	10m間隔で設置			
	7.7	写真の確認			工事写真作成要領参照	
	7.8	施工図による出来形の確認				
8 配線						
	8.1	配線工事チェックシートによる。				
	8.2	管端が上部開口箇所では止水対策				
	8.3	呼び線の入線				
9 施工完了後						
	9.1	用途別電線路の配置確認(高圧、動力、低圧、制御、計装)				
	9.2	写真の確認			工事写真作成要領参照	
	9.3	施工図による出来形の確認				

2-5 ケーブルラック及びケーブルダクト工事



2-5 ケーブルラック及びケーブルダクト工事

シートNo.

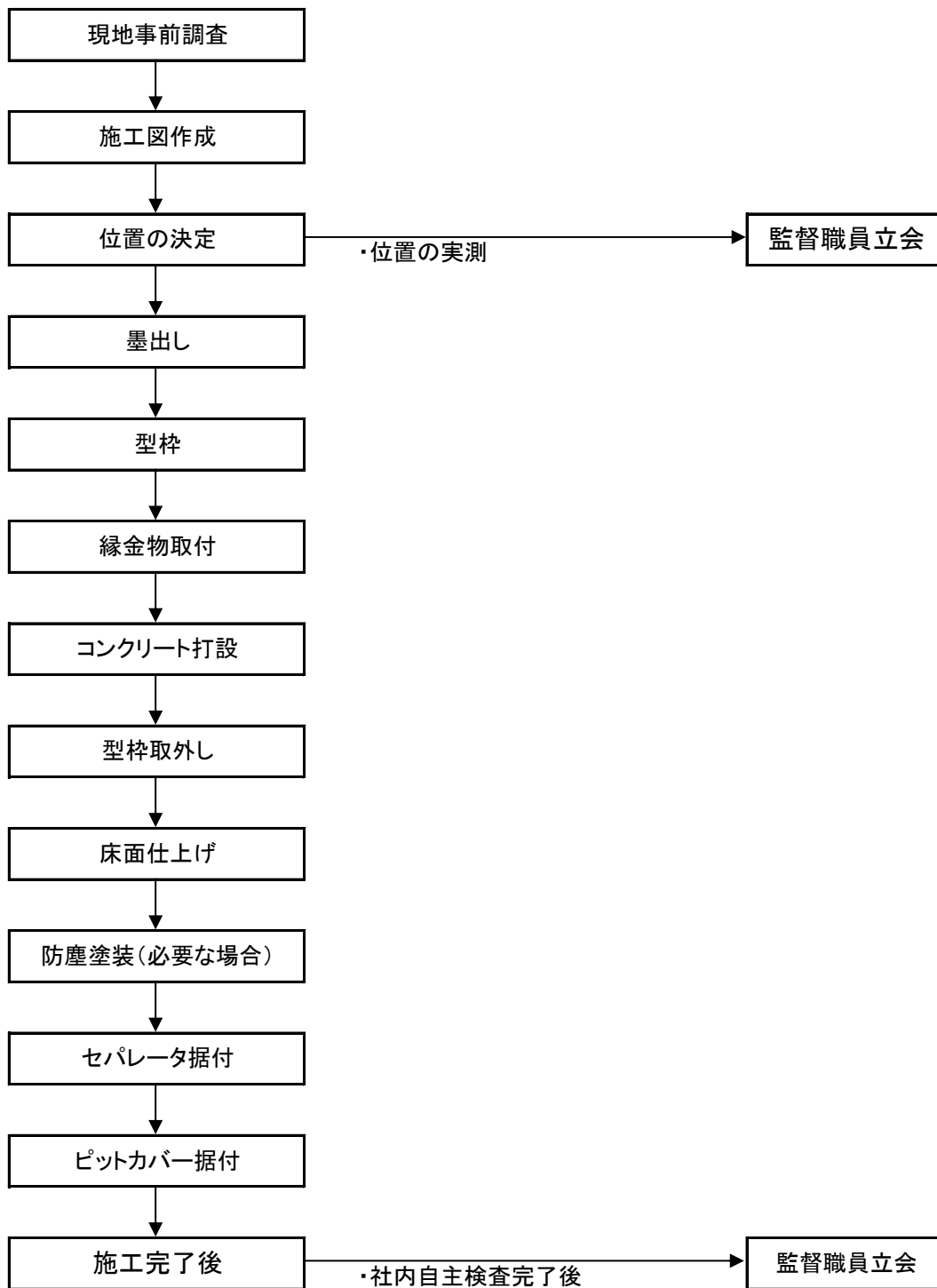
対象機器	・ケーブルラック 式 ・金属ダクト 式		施工場所	施工機器
	工程	チェック項目	品質管理基準	確認日
1	現地事前調査			
	1.1	設計図書と現地との対比		
	1.2	機器外形寸法、ケーブル接続位置の確認(機器製作図による)		
	1.3	機器据付場所周りの建築設備(照明、自火報、空調ダクト等)の位置確認		
	1.4	関連工事との工程・機器配置等調整の確認		
	1.5	使用資材(鋼材等)の調査		
	1.6	既設埋設物の確認(電気・ガス・水道)		
	1.7	既設状況の確認(更新の場合)		稼動状況・停止可能時間等の確認
	1.8	調査資料を作成し、監督職員と協議		
2	施工図作成(経路・位置の決定)			
	2.1	関連工事の施工図との整合確認		
	2.2	既設機器との整合確認		
	2.3	構内の建築等将来計画確認		
	2.4	用途別電線路の離隔確保		
	2.5	配管経路、配管方法の決定	設計図書	
	2.6	建物との取合について、防潮高さをクリアしているか確認		
	2.7	電線路選定根拠	電線・ケーブルの本数 断面積の総和	
	2.8	将来用電線路の条数確認		
	2.9	用途別電線路の配置確認		
	2.10	施工承諾図の提出		経路・位置・高さ
	2.11	材料承諾書の提出	設計図書、共通仕様書	品質等の確認
	2.12	切替計画書の作成(更新工事の場合)		関連工事と調整済のもの
	2.13	監督職員の承諾(2.10~2.12)		
3	搬入			
	3.1	搬入計画書の提出及び承諾(必要な場合)		
	3.2	材料承諾図との確認	設計図書、共通仕様書	品質等の確認
	3.3	写真の確認		工事写真作成要領参照
4	墨出し			
	4.1	墨出し		
	4.2	写真の確認		工事写真作成要領参照
5	型枠(4~6必要な場合)			
	5.1	型枠材は、型枠内面部の剥離材塗布又は合板内面コーティング材使用		
	5.2	寸法どおりの型枠使用		
	5.3	コンクリートが漏れない構造		
	5.4	写真の確認		工事写真作成要領参照
	5.5	施工図による出来形の確認		
6	コンクリート打設(4~6必要な場合)			
	6.1	コンクリート基礎の大きさ及び高さ確認		
	6.2	打設後の適切な養生、期間の確保		
	6.3	写真の確認		工事写真作成要領参照
	6.4	施工図による出来形の確認		

2-5 ケーブルラック及びケーブルダクト工事

シートNo.

対象機器	・ケーブルラック 式		品質管理基準	施工場所	施工機器
	・金属ダクト 式				
工程	チェック項目		品質管理基準	確認日	備考
7	型枠取外し(4~6必要な場合)				
	7.1	型枠締付材の撤去確認			
	7.2	コンクリート基礎の仕上り状況			
8	支持材の取付				
	8.1	あと施工アンカー要領書の提出及び承諾			
	8.2	あと施工アンカーのドリル選定、穿孔長、孔内清掃、挿入、拡張等の確認(写真の確認)	承諾図		
	8.3	あと施工アンカー引き抜き試験	N以上		
	8.4	ベース固定ボルト締付確認・合いマーク	締付けトルク Nm		
	8.5	水平垂直確認(水平調整含む)			
	8.6	あと施工アンカー確認シートの提出			
	8.7	支持材取付間隔確保	管理基準		
	8.8	ダクトは断面の長辺の長さによる確認			
	8.9	支持金物に保護キャップ取付	床上2.5m以下の部分		
	8.10	写真の確認			工事写真作成要領参照
	8.11	施工図による出来形の確認			
9	ラック・ダクト取付				
	9.1	蛇行、傾きの確認			
	9.2	ラック振れ幅の確認(補強を含む) 15m毎に振れ止め			
	9.3	伸縮継手の規定間隔ごとの設置			
	9.4	エキスパンション・ジョイント部のラック分離施工			
	9.5	セパレータの取付確認			
	9.6	配線用途の種別表示貼付・確認 「特高」「高圧」「低圧」「制御」「計装」			
	9.7	ラックの場合、ラック下部にも上記内容を確認			
	9.8	必要箇所のボンディングアース取付 蓋の取付確認 ラック・ダクトが振れないことを確認			
	9.9	写真の確認 施工図による出来形の確認			工事写真作成要領参照
10	施工完了後				
	10.1	ラック・ダクトが振れないことを確認			
	10.2	写真の確認			工事写真作成要領参照
	10.3	施工図による出来形の確認			

2-6 ケーブルピット工事



2-6 ケーブルピット工事

シートNo.

対象機器	・ケーブルピット 式		施工場所		施工機器	
工程	チェック項目		品質管理基準	確認日	備考	
1	現地事前調査					
	1.1	設計図書と現地との対比				
	1.2	機器外形寸法、ケーブル接続位置の確認(機器製作図による)				
	1.3	機器据付場所周りの建築設備(照明、自火報、空調ダクト等)の位置確認				
	1.4	関連工事との工程・機器配置等調整の確認				
	1.5	使用資材(鋼材等)の調査				
	1.6	既設埋設物の確認(電気・ガス・水道)				
	1.7	既設状況の確認(更新の場合)			稼動状況・停止可能時間等の確認	
	1.8	調査資料を作成し、監督職員と協議				
2	施工図作成(経路・位置の決定)					
	2.1	関連工事の施工図との整合確認				
	2.2	既設機器との整合確認				
	2.3	構内の建築等将来計画確認				
	2.4	用途別電線路の離隔確保				
	2.5	配管経路、配管方法の決定	設計図書			
	2.6	建物との取合について、防潮高さをクリアしているか確認				
	2.7	電線路選定根拠	電線・ケーブルの本数 断面積の総和			
	2.8	将来用電線路の条数確認				
	2.9	用途別電線路の配置確認				
	2.10	施工承諾書の提出			経路・位置・深さ・幅	
	2.11	材料承諾書の提出	設計図書、共通仕様書		品質等の確認	
	2.12	切替計画書の作成(更新工事の場合)			関連工事と調整済のもの	
	2.13	監督職員の承諾(2.10~2.12)				
3	位置の決定					
	3.1	位置の実測				
	3.2	監督職員の承諾				
	3.3	着手前の写真の確認			工事写真作成要領参照	
4	墨出し					
	4.1	墨出し				
	4.2	写真の確認			工事写真作成要領参照	
5	型枠					
	5.1	型枠材は、型枠内面部の剥離材塗布又は合板内面コーティング材使用				
	5.2	寸法どおりの型枠使用				
	5.3	コンクリートが漏れない構造				
	5.4	写真の確認			工事写真作成要領参照	
	5.5	施工図による出来形の確認				
6	縁金物取付					
	6.1	縁金物取付筋のスラブ床面固定間隔	管理基準			
	6.2	縁金物の取付、固定				
	6.3	レベル及び水平の確認				
	6.4	写真の確認			工事写真作成要領参照	
	6.5	施工図による出来形の確認				

2-6 ケーブルピット工事

シートNo.

対象機器	・ケーブルピット 式		施工場所		施工機器	
工程	チェック項目		品質管理基準	確認日	備考	
7	コンクリート打設					
	7.1	コンクリート配合計画書、報告書を監督員へ提出	強度試験必要		5m ³ 以下は、強度試験省略可能	
	7.2	適切なコンクリート強度確保				
	7.3	型枠に接する面が平滑となる打設				
	7.4	打設後の表面金ごて仕上げ				
	7.5	打設後の適切な養生、期間の確保				
	7.6	コンクリート強度試験成績書を監督員へ提出				
	7.7	写真の確認			工事写真作成要領参照	
	7.8	施工図による出来形の確認				
8	型枠取外し					
	8.1	型枠締付材の撤去確認				
9	床面仕上げ					
	9.1	コンクリート面のレイトランス等除去、清掃作業				
	9.2	平滑な表面仕上げ				
	9.3	型枠に接した面の表面補修				
	9.4	写真の確認			工事写真作成要領参照	
10	防塵塗装(必要な場合)					
	10.1	十分な素地乾燥確認				
	10.2	塗布面のクラック等補修と清掃				
	10.3	作業環境(換気、マスキング)の確保				
	10.4	写真の確認			工事写真作成要領参照	
11	セパレータ据付					
	11.1	セパレータの取付確認				
12	ピットカバー据付					
	12.1	補強アングルの配置確認				
	12.2	取手付きカバーの配置確認(5枚に1枚程度)				
	12.3	隙間、ガタ付きの確認				
	12.4	写真の確認			工事写真作成要領参照	
13	施工完了後					
	13.1	ケーブルピットと機器との位置関係				
	13.2	配線引込口の確認				
	13.3	フロアレベルの確認				
	13.4	写真の確認			工事写真作成要領参照	
	13.5	施工図による出来形の確認				